



Platform
for Sustainable Cocoa
in Developing Countries



第2回プラットフォーム会員ミーティング 「プラットフォームの今後を考える」

2021年12月15日（水） 13:00-15:00

<ミーティングご参加に関するお願い>

- カメラは発言される際にオン
- マイクは発言時以外はミュート
- ご質問がある際はチャット欄から、または「挙手」
- 終了後、FORMS URLからアンケートにご回答ください

ミーティング次第

1. 主催者挨拶・趣旨説明（10分） JICA 小林
2. 参加者自己紹介（15分）
お名前、ミーティングへの期待
3. 第1部：全体方針（計45分）
 - ① ACE及川有希子様（5分） 「JICAガーナ調査中間報告：欧州PFの事例紹介」
 - ② 事務局 齋藤（10分） 「PFの方針に関するアイデア出し」
 - ③ 話し合い（30分） 「PFの全体方針について」

ミーティング次第

4. 第2部：具体的なアクション（計45分）
 - ① 清田和之様 分科会1「スリランカカカオ豆の日本への普及販売」
 - ② 江澤孝太郎様「カカオと気候変動分科会」（仮）
 - ③ ACE白木朋子様「児童労働分科会」（仮）
 - ④ 話し合い（30分）「具体的なアクション」
5. 閉会（2分）事務局 齋藤

2. 自己紹介

簡潔に以下の点をお話してください：

- お名前、ご所属（あれば）
- PF登録に当たって・今回のMTGへの期待
「私は他の会員のみなさんと〇〇〇に取り組みたい」

3. 第1部：全体方針

- 1) イントロ
- 2) ACE及川様「欧州PFの事例紹介」
- 3) 話し合い～当PF全体方針を考える

今回のアンケート回答【関心課題】

サステイナブルカカオ

- 最新の世界のカカオ事情
- 計画通りに進んでいること
- 計画に反してうまく進まないこと
- ボトルネックは何か
- 解決の努力
- 日本国内の活動の規模感
- 政府と企業の協力度合い
- 消費者に選ばれる工夫

児童労働

- 現状分析
- モニタリング方法・指標
- 撤廃推進ガイドラインの策定
- トレーサビリティの努力・システムの構築

環境・気候変動

- アグロフォレストリーの実践
- アフリカやラテンアメリカのアグロフォレストリーへの転換
- サステイナブルな環境整備

—話し合い～当PF全体方針を考える—

① サステイナブル・カカオ 調達割合

No.	会員	サステイナブル・カカオ調達割合にかかる目標年	
1	会員A	2023年度（20%以上）	2028年度（50%以上）
2	会員B	2025年度（100%）	
3	会員C	2025年度（80%以上）	
	：		
	：		

目標年・割合の相違を超え、PF全体として目指す方向を打ち出す
⇒プラットフォーム会員有志連名でウェブ上に記事掲載

② ビジネスと人権・児童労働

「ガーナChild Labour Free Zone制度の推進」をモデルケースに
各PF会員の専門分野を活かし
ステークホルダーエンゲージメントを
高める共創事業案を話し合う



③ アグロフォレストリーの取組目標

- カカオ以外産品との混栽
- 庇陰樹の植栽
- 有機質肥料の製造 等

PF会員それぞれのアグロフォレストリー
関連の取組目標を記述式でまとめ、ウェブ
サイト上に記事掲載

4. 第2部：具体的なアクション

1) 分科会の設置・事例

2) その他のアクション

参考) 今後の進め方

1) 分科会の設置・事例

分科会1 スリランカ カカオ豆日本への普及

(清田様)

テーマ：「カカオと気候変動」分科会

(江澤様)

テーマ：「児童労働」分科会

(白木様)

2) その他のアクション

- 会員間コミュニケーション促進
(ミーティング、勉強会、掲示板的な情報交換など)
- 会員発案のイベント企画・実施
- メーリングリストの活用

など

参考) 今後の予定

- 2022年2月 (予定) : バレンタインイベント
- 会員間の話し合いの機会 : 定例会、ミーティング
- Teams、OneDriveを用いた情報共有 :

2022年4月以降に試行可

ミーティングご参加ありがとうございました

- 本ミーティングの開催記録を後日ウェブサイト上で公開します。
- 話し合いメモはメーリングリストで共有します。
- 事後アンケートのお願い

<以下のURLからアンケート回答をお願いします> :

<https://forms.office.com/r/G5MyStXLz1>